学校番号	1009

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報産業と社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報 701「情報産業と社会」　（実教出版）						
副教材等	未定						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年生で学習したタイピング、Word、Excel、コンピュータについての知識をさらに 1 歩すすめて学習し、毎パソや他の検定取得につなげます。
・発表やグループワークを中心に、「情報」とこれからの社会のかかわりについて考えます。

2　学習の到達目標

・情報産業の特徴および社会とのかかわりや及ぼす影響を理解する。
・情報産業と社会の中での問題の発見と解決のために、情報機器やアプリケーションなどを適切に活用して表現する。
・情報産業と社会のかかわりについての興味や関心を高めるとともに、幅広い視野を養い、その発展に寄与する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して情報社会における実務的な問題を解決する方法についての理解 ・情報化が人間社会に与える影響と、その中で個人に課される責任とモラルについての理解 ・情報に関する基礎・基本的な技能を身につけ、情報社会における実務的な問題の解決に役立てることができる	・さまざまな情報に関する問題を習得した基礎的な知識と結び付けてとらえる力 ・問題の発見と解決のために、実務的なコンピュータの操作や、情報に関する知識を応用する力 ・他者と協力しながら情報技術を活用し、問題解決に役立てていく力	・情報産業と社会のかかわりについて、さまざまな視点から多角的・多面的にとらえていこうとする態度 ・情報モラル・情報セキュリティについて、その意義を理解し、実践に役立てていこうとする態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期・2学期	情報産業と情報技術	○情報技術の基礎 ・コンピュータの仕組み ・ハードウェア ・ソフトウェア ・情報通信システム ・情報のディジタル化 ・問題解決におけるコンピュータの活用(Word、Excel 等)	a:Word、Excel を応用的に活用し、実務的な問題解決に役立てることができる。 情報に関する知識と実務的な技術について理解している。 b:情報技術に関する知識を応用し、さまざまな実践的な問題を解決することができる。 c:情報産業を支える情報技術について、積極的に理解しようとしている。	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容
1学期・2学期	情報産業の進展と役割	○情報産業の役割 ・情報通信ネットワーク ・データの管理 ・問題解決におけるさまざまなソフトの活用	a:ネットワークにおけるプロトコルの役割、クライアントサーバシステムの役割について理解している。 b:データベースに関する知識を応用し、資格試験などの問題を通じて問題解決の方法を考えることができる。 さまざまなデータ形式を理解し、問題解決のために適切に管理・運用していくことができる。 c:ネットワークが支える情報化社会の発展について関心をもち、積極的に理解しようとしている。	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容

2学期・3学期	社会の情報化	○情報産業と情報モラル ・情報社会の問題点 ・情報モラル ・情報技術者の義務と責任 ・情報産業にかかわる法規	a：情報セキュリティの管理を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術について理解している。 情報産業における情報や個人情報を保護するために必要な法規について理解している。 b：情報化が社会に与える影響および、情報技術者の義務と責任について、多角的な視点からその良し悪しを判断し、情報モラルのありかたについて考えることができる。 情報化が社会に与える影響を理解し、情報技術者としての義務と責任のもと、情報技術を適切に活用することができる。 情報に関する知識やモラルを正確に理解し、さまざまな社会現象に対して適切な判断を行うことができる。 c：情報社会における様々な問題点について関心を持ち、クリティカルシンキングの観点から、問題を多面的にとらえようとしている。	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容

3学期	情報技術の活用	○プレゼンテーションによる情報の発信 ・情報社会におけるさまざまなジレンマ ・情報社会に生きる自分たちの将来について	a:情報の収集、処理、発信、表現を適切に行うことができる。 情報社会における様々な問題点を正しく理解し、その解決にむけて知識や技術を正しく活用することができる。 最新の情報技術に関するキーワードについて、正しく理解することができる。 b:情報社会の発展がもたらす様々な社会的変化を柔軟にとらえ、多角的な視点からその問題を分析し、問題に対して適切な判断をくだすことができる。 c:情報社会における様々な問題点を身近なテーマから学び、その解決にむけて主体的に取り組もうとしている。 情報社会に生きる個人として、今後の進路、職業がどのように社会と関わるのかを積極的に考えようとしている。 自らのキャリアが情報社会とどのようなかかわりを持つかを理解し、今後の生き方を主体的に模索することができる。	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容	授業や授業プリントの取り組み内容 実技課題の取り組み内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度